

温泉に関する可燃性天然ガス等安全対策検討会（第5回）
＜議事要旨（案）＞

1. 日 時：平成19年9月13日（木）13：55～14：42

2. 場 所：法曹会館「富士」の間

3. 出席委員：7名（五十音順、敬称略）

板垣 晴彦 （独）労働安全衛生総合研究所化学安全研究グループ 上席研究員

今橋 正征 東邦大学名誉教授《座長》

甘露寺泰雄 （財）中央温泉研究所所長

田中 彰一 東京大学名誉教授

田村 裕之 消防大学校消防研究センター火災災害調査部火災原因調査室長

平川 良輝 帝石削井工業（株）常務取締役

三田 勲 日本天然ガス（株）常務取締役

（欠席：池田委員）

4. 環境省側：桜井自然環境局長、奥主自然環境局総務課長、
中野自然環境整備担当参事官 他

5. オブザーバー：総務省消防庁、厚生労働省、経済産業省、国土交通省

6. 議 事

(1) 中間報告のとりまとめについて

(2) その他

(*なお、会議は公開で行われた。)

7. 議事要旨

○議題1「中間報告のとりまとめについて」

事務局より、資料に基づき、中間報告（案）について説明。

（各委員からの意見（概要））

- ・掘削事業者団体において作成されることを期待する「自主的な安全対策に関する指針」については、掘削時だけでなく廃止時に関するものを含めるべきではないか。
- ・過去に廃止された源泉や一時採取を停止している源泉の取扱いについては、実態を調査した上で「必要な安全対策を検討する」とあるが、「必要な安全

対策を講ずる」とすべきではないか。

→ 以上の修正案を了承。中間報告がとりまとめられた。

○議題2「その他」

- ・桜井局長より、中間報告を踏まえ開会中の臨時国会に温泉法の改正案を提出すべく作業を進める旨発言あり。

以上